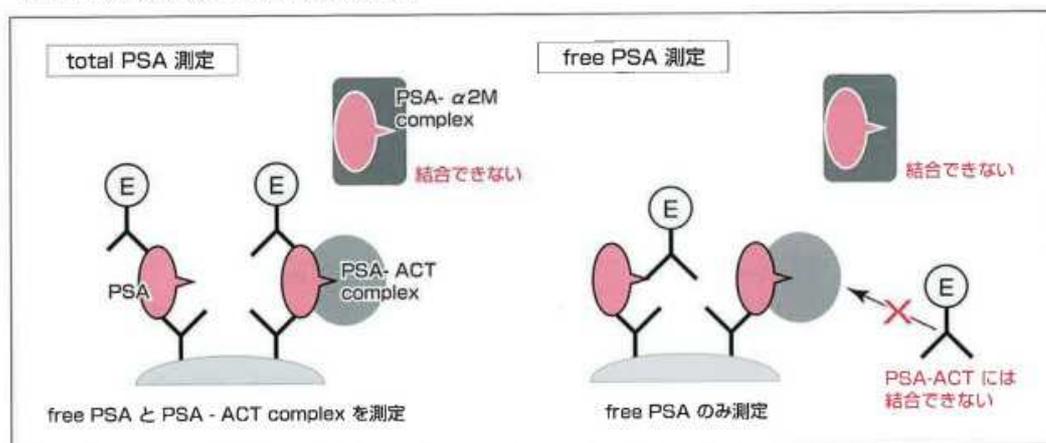


free P S A

遊離型前立腺特異抗原キット

PSAは血中では α -1Antichymotripsin (ACT)と結合したcomplexPSAと遊離型の free PSA が免疫活性のあるPSAとして存在しています。

total PSA 測定系と free PSA 測定系



血中 total PSA 濃度が $4 \sim 10 \text{ ng/mL}$ のグレーゾーンと呼ばれる領域では、約 $20 \sim 40\%$ の頻度で前立腺癌が発見されており、前立腺肥大症等の良性疾患と鑑別するためには直腸診、超音波診断などの精密検査を行い、最終的な診断には生検が行われています。

前立腺肥大症等の良性疾患では前立腺癌に比べ free PSA 濃度が高いことが報告されており、total PSA 濃度における free PSA 濃度の比 (F/T 比) を求めることで、前立腺肥大症等の良性疾患と前立腺癌を効率よく鑑別でき、二次検診や受診者の負担を軽減できると考えられています¹⁾。

1) Egawa S., et al., Cancer, 79, 90 (1997)

仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (free PSA)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (free PSA) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (free PSA) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)

対象検体種 血清、ヘパリン血漿

測定時間 免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法) 結果報告 約20分

測定範囲 $0.01 \sim 100 \text{ ng/mL}$

健常人参考値 ※本項目は total PSA との比から判断するため、健常人参考値はありません。